

○「普賢寺地区連絡会の設立を了解」

(京都府京田辺市普賢寺地区連絡会議)(第7回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

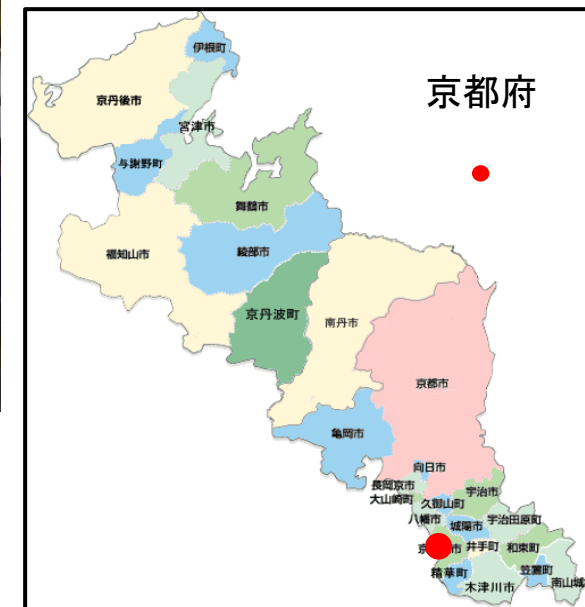
- 日時(時期): 平成31年3月27日午後7時30分～9時
- 場 所: 普賢寺公民館
- 出席者: 委員4人、委員以外13人
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 現会長が、農を考える会設立時から現在に至るまでの経緯を説明し、会長を降りることを宣言した。
- 普賢寺地域の農を考える会を進化させるため、「普賢寺地区連絡会」の設立を提案した。
- 今の課題は個々の農家や集落、区だけでは解決できない。区が連携し、助け合い、課題解決する。また新しいことにチャレンジするエンジンとなることを期待するとの意見がだされた。
- 地区代表の選出方法や会の開催回数、構成員、部会などの質疑応答を経て、新しい会の設立が了解された。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援